

文化連（総）発第 22017 号
令和 4 年 5 月 20 日

厚生連情報教育事業システム検討小委員会
委 員 長 羽角 安夫
日本文化厚生農業協同組合連合会
代表理事理事長 東 公敏
(公印省略)

情報教育事業システムに関するアンケート調査へのご協力をお願い

拝啓 初夏の候、貴会ますますご盛栄のこととお慶び申し上げます。また、平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて標記の件ですが、この度、効果的且つ効率的な厚生連職員教育と研修コストの節減に資する事を目的としたシステム、「厚生連オンラインカレッジ」の開設に向けて、文化連評議委員会のもとに、会員の役員代表による「厚生連情報教育事業システム検討小委員会」(事務局・文化連)が令和 4 年 3 月 22 日に設置されました。

本委員会では、新型コロナウイルス感染の影響により、厚生連における職員教育研修がどう変化したか、さらには今どのような状況におかれ、どのような課題を抱えているのかを把握する為のアンケート調査を実施することと決定いたしました。

つきましては、時節柄お忙しいとは思いますが、貴会における本所主催の職員教育研修内容や研修環境における課題及び今後の検討状況等につきまして、お手数ですが、下記にご案内させていただきますアンケートファイルをダウンロードしていただきました上で、期日までにメールにて回答ファイルを文化連・事務局までご返信下さいますよう、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

記

- 1、回答期日：令和 4 年 6 月 10 日（金）まで
- 2、回答先：onlinecollege@bunkaren.or.jp
- 3、アンケートファイルについて

下記 URL よりダウンロードをお願い致します。

<https://www.bunkaren.or.jp/chousa>

- 4、お問い合わせ先 TEL 03-3370-2541
担当：日本文化厚生連 開発調査室 中根
総務企画部 和田

※このアンケートで得られた情報は厚生連情報教育事業システム検討小委員会の取り組みに活かす事を目的とし、それ以外の目的で使用しない事をお約束いたします。

厚生連職員オンライン研修システムの開発にあたって

—「厚生連オンラインカレッジ」—

* 令和4年2月10日評議委員会、3月15日経営管理委員会・理事会、3月22日第1回厚生連情報教育事業システム検討小委員会で承認されました。

1. 日本文化厚生連事業計画について

- 本会は、第9次中期事業計画「組織ビジョン」(文化連組織のめざす姿)において、「頼りになる情報・教育機能を発揮する組織に成長させます」として、会員の要望に応える情報提供や教育研修の強化に取り組んでいる。
- 今回、第75(令和4)年度事業計画案において「ウィズコロナ・アフターコロナの経営改革支援—4つの重点」のひとつとして、「新時代の厚生連職員研修システム『厚生連オンラインカレッジ』の開発・導入」を掲げることとしている。

2. 検討小委員会の設置について

- ついては、評議委員会のもとに「厚生連情報教育事業システム検討小委員会」を設置し、本事業システム『厚生連オンラインカレッジ』を開発するにあたって、理事長に対して意見具申をしていただくこととする。
- 第21回評議委員会(令和4年2月10日)において、同小委員会の設置および委員について承認をいただいた。
- 委員の委嘱について
厚生連情報教育事業システム検討小委員会委員について、以下のとおり委嘱された。委員長には佐野厚生連の羽角常務理事が互選された。

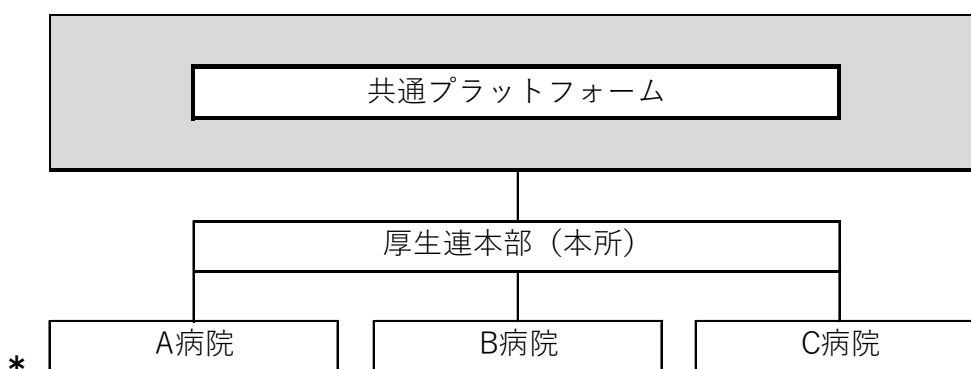
厚生連名	役 職	氏 名
佐野厚生農業協同組合連合会	常務理事	羽角 安夫 (小委員会委員長)
長野県厚生農業協同組合連合会	常務理事	楯 利彦
愛知県厚生農業協同組合連合会	代表理事常務	濱田 國義
山口県厚生農業協同組合連合会	常務理事	上田 幸子

3. 『厚生連オンラインカレッジ』の開発概要案について

- (1) 本事業システム『厚生連オンラインカレッジ』を利用することにより、効果的・効率的な職員教育の実施および研修コストの節減に資することを目的とする。
- (2) 共通のプラットフォームを会員が共同利用する WEB 型システムとする。プラットフォームは e ラーニング事業者((株)日本経営を予定)が利用している低廉なシステムを活用し、必要なシステム環境は会員が準備する。
- (3) 職員の基礎教育から管理者・幹部教育に至る階層別の職員研修や情報教育に資する幅広い講義コンテンツを搭載する。
- (4) 講義コンテンツは、①文化連の作成による講義、②会員個別の作成による講義、③e ラーニング事業者((株)日本経営を予定)の作成による講義の、3 つのコンテンツカテゴリーにより構成し、研修体系(および利活用する講義の選択)については会員が設計するものとする。
- (5) 本事業システムの共同利用を通じて、会員間で教育研修担当部署および受講者の相互の交流や研鑽をめざす。
- (6) 開発および利用推進にかかる経費は文化連の指導事業支出および事業管理費により手当てし、「カレッジ」開講後の運用経費は会員が負担する利用料を充てるものとする。
- (7) 本事業システムの開発・運用および「カレッジ」運営の事務局は文化連に置くものとする。

4, コンテンツのイメージについて

- プラットフォームには、文化連配信、(株)日本経営配信、会員個別配信のコンテンツをそれぞれカテゴリ化して搭載する。職員個別にIDを付与するシステムを基本とし、適宜オンラインでコンテンツにアクセスし研修を受けるものとする。
- 3つのコンテンツカテゴリーの仕組みとする。
 - 文化連配信コンテンツ(Dr.高瀬講座、外部講師講義等)
 - 日本経営配信コンテンツ(医療機関向け階層別 eラーニング)
 - 独自配信コンテンツ(厚生連作成)
- 各厚生連での統一的な運用とするため、厚生連本部(本所)が窓口となりプラットフォームに開設登録を行い、そこから各事業所(病院)が紐づく仕組みとする。



➤ 文化連配信コンテンツ

① 文化連作成の講義(予定)

- 「厚生連職員のための病院管理学」基礎講座
(医学概論、医療安全管理概論、病院情報管理概論)
* 東京医科歯科大学・高瀬浩造名誉教授による監修
- 「協同組合としての厚生連医療」のABC
- 「医療版DX・ICT対策」の基礎
- 「購買費用削減対策と厚生連共同購入」概論 等

② 文化連主催の研修会・会議等の講演・報告の中から、会議等終了後に一定期間配信

● 日本経営配信コンテンツ

① 階層別研修(Waculba 組織人材系カテゴリ)

- ・ 新入職員(32 講 207 分)
- ・ 一般職員(37 講 304 分)
- ・ 監督職(31 講 171 分)
- ・ 管理職(74 講 822 分)

② 階層別研修(Waculba 経営系カテゴリ)

- ・ 経営幹部(【事務】8 講 489 分、【経営企画】35 講 1058 分)
- ・ 管理職以上(【地域連携部門・事務部門】24 講 356 分) 等

● 会員個別配信コンテンツ

* 会員が独自に作成した講義を掲載する。

(例)

- ・ 会長・理事長の訓示
- ・ 中期計画・年度事業方針
- ・ ○○厚生連の歴史
- ・ 院内作成講義 等

※ 厚生連オンラインカレッジの利用料金等については本検討小委員会にて検討中

5. 全国厚生連からの利用推進にかかる協力の申し入れについて

- 全国厚生連より、「会員厚生連の階層別研修支援を全国厚生連としても進めているところであり、「厚生連オンラインカレッジ」の開発検討を進めている文化連と何らかの部分で連携ができないか」と以下のように相談をいただいた。
 - 文化連が開発しようとしている「厚生連オンラインカレッジ」は、多くの厚生連職員が時間を有効に活用し効率的・効果的に階層別の研修ができる仕組みであると、全国厚生連として評価している。
 - 全国厚生連主催の「経営管理職層育成研修会」の事前および事後の研修として、(株)日本経営配信コンテンツを組み合わせることで学んでもらうことが想定できる。
 - ついては、「厚生連オンラインカレッジ」(日本経営配信コンテンツ=階層別研修)の利用を、全国厚生連と文化連が協同して厚生連に呼びかけることを提案したい。
- 全国厚生連との協議(3月16日)においては、文化連より下記のように提案し確認とした。
 - 3月22日の検討小委員会に全国厚生連からの協力申し入れの件を報告し、委員の意見を踏まえて、双方が連携した利用推進のやり方についてぜひ協議を前に進めたい。
 - 文化連の役割は、「厚生連オンラインカレッジ」を会員のシステム共同利用事業として位置付けて、利用料管理を含む全体のシステム管理・運営の事務局機能であることを了解いただく。
- 文化連としては、すでに全国厚生連との共催で2つの研修会を実施しているところであり、「厚生連オンラインカレッジ」の利用推進にかかる今回の全国厚生連の協力提案も積極的に受け入れたいと考える。連携した利用推進の具体的なやり方については、さらに全国厚生連と調整し、次回の委員会に報告し協議していただきたい。

6, スケジュール案について(令和4年)

- 3月22日 **第1回検討小委員会**(開発概要・基本設計)
15:00~16:30【オンライン開催】
- 4月7日 会員厚生連常勤役員参事会議(検討状況の中間報告)
- 5月6日 **第2回検討小委員会**(詳細設計)
15:00~16:30【オンライン開催】
- 7月6日 **第3回検討小委員会**
(意見具申および評議委員会への文書報告)
14:00~16:00【実出席(予定)】新宿農協会館
- 7月7日 会員厚生連常勤役員参事会議
(「カレッジ」の紹介と利用呼びかけ)
- 7月12日 事業システム基本方針・運営規程の決定(理事会承認)
- 10月1日 「厚生連オンラインカレッジ」プレ開講
- 10月27日 **第4回検討小委員会**(検証・評価および利用推進対策)
15:00~16:30【オンライン開催】

以上